

3 令和2年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①新科目「公共」の研究開発に取り組み、持続可能な社会の担い手を育てる教育を推進し、生徒の問題解決能力や思考力判断力表現力を育む。</p> <p>②「生徒の心に火をつける授業」を目指し、主体的で対話的で深い学びとなるよう不断の授業改善に取り組む。</p> <p>③再編・統合に向けて教育課程を改善し、生徒の基礎学力の向上・発展的学習の支援を行う。</p>	<p>①「公共」の研究開発に取り組み、「授業研究会」等を通じた授業改善を推進する。</p> <p>②「生徒の心に火をつける授業」を目指し、生徒が「何ができるようになったか」「何が身についたか」「学びの意味」を実感できる授業づくりを推進する。</p>	<p>①全ての教科でキャリア・シチズンシップ教育を基軸とした実践的な取組を実施する。</p> <p>②「生徒の心に火をつける授業」を目指し、教育課程編成の改善を実施して基礎・基本の定着による学力の向上と課題発見・課題解決力の育成を図る。</p>	<p>①キャリア・シチズンシップ教育を基軸とした実践的な取組を企画・計画できたか。</p> <p>② 生徒による授業評価の全項目の肯定的解答がそれぞれ6割以上となったか。授業での発問の工夫や生徒の活動・発表の場が増えるなど生徒の主体的な学ぶ姿勢や態度が向上したか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①キャリア・シチズンシップ教育の視点から「社会的自立心」や「規範意識」を育てる生徒指導を実践する。</p> <p>②各担当が連絡を密にした教育相談体制を確立する。</p> <p>③生徒数が減少する中でも、学校行事や部活動が活性化できるよう改善する。</p>	<p>①「社会的自立心」や「規範意識」を育てる生徒指導を実践する。</p> <p>②教育相談体制を確立する。</p> <p>③学校行事や部活動が活性化できるよう改善する。</p>	<p>①校内・校外での規則正しい生活習慣を確立するための取組を学校全体で行う。</p> <p>①-2 SNS 等の正しい理解と人を思いやる心を育てる。</p> <p>②教育相談の連絡体制と支援体制の充実を図り、教育相談等の機能の活用・連携を通じた生徒支援を充実する。</p> <p>③部活動・行事等と学習を両立し、自他を尊重し、豊かな経験を得ることができるよう指導・支援する。</p>	<p>①問題行動を減少させる取り組みを職員全体で統一して行うことができたか。</p> <p>①-2 定期的な集会やHR等を通じて、SNS等の正しい理解と人を思いやる心を育てることができたか。</p> <p>②スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携が進んだか。</p> <p>③部活動加入率が前年を上回ったか。また、生徒の輝く姿を支援できたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒の希望する進路が実現できるよう、3年間通じて個々の生徒に、きめの細かい丁寧な進路指導を行う。</p>	<p>①生徒のキャリア形成、自己実現を3年間の計画をもとに支援する。</p>	<p>①-1 各学年で「進路の手引き」を活用しながら生徒に必要な情報を提供し、学びを深めさせる。</p> <p>①-2 進路指導に必要となる情報共有やスキルアップのための研修を学年ごとに行ったうえで、全体での共有を図る。</p>	<p>①-1 各学年で「進路の手引き」を活用することができたか。</p> <p>①-2 各学年での情報共有やスキルアップのための研修を行うことができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①本校の教育活動を発信する。</p> <p>②地域資源を活用したさまざまな連携体制を推進し、地域に根ざした教育に取り組む。</p>	<p>①HPを充実させ、本校の教育活動を発信する。</p> <p>②学校運営協議会等を活用した地域との連携体制を推進する。</p>	<p>①HPを迅速に更新する。また掲載するコンテンツや内容の充実を進め、魅力的なHPの作成に取り組む。</p> <p>②三ツ境養護学校分教室との交流を充実させる。</p> <p>③学校運営協議会の円滑な運営を図る。</p>	<p>①HPを迅速に更新できたか。内容を充実させることができたか。</p> <p>②三ツ境養護学校分教室と本校生徒の交流の場を設定できたか。</p> <p>③学校運営協議会制度の課題を整理し、円滑な企画・運営が図られたか。</p>

視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
5	<p>学校管理</p> <p>学校運営</p> <p>①安心・安全な学習環境の整備。</p> <p>②事故・不祥事防止に向けた取組を徹底する。</p> <p>③防災意識の向上を図る。</p> <p>④生徒と向き合う時間確保のために教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①安心・安全な環境整備や再編・統合に向けた備品等の整備を行う。</p> <p>②事防・不祥事防止に向けた取組を徹底する。</p> <p>③防災意識の向上を図る。</p>	<p>①-1 施設・設備を点検し、情報を共有し合って破損箇所の把握や修繕を迅速に行う。</p> <p>①-2 廃棄予定物品をリスト化し、統合に向けて計画的に準備する。</p> <p>② 定期的な事故防止研修を行うとともに、日常的な点検・確認を通して業務を見直し、効率的かつ的確に業務をすすめる。</p> <p>③ 各学期において防災訓練を実施し、PAD 通信を配付する。</p>	<p>①-1 施設・設備の日常的な安全点検を通して迅速な修繕に努められたか。</p> <p>①-2 統合に向けた物品整理計画を作成し、職員間で共有できたか。</p> <p>②-1 業務に係る日常点検及び事故防止研修を定期的実施できたか。</p> <p>②-2 予算・決算、執行、業者選定等が適切に実施できたか。</p> <p>③ 防災訓練や災害図上訓練、PAD 通信等を通じて防災意識を高めることができたか。</p>